

山中裕先生著書・論文目録(四)

小口雅史編

○昭和六十三年

二月 松村博司著『栄花物語の研究―校異編上・中・下』 国語と

国文学六五―二

三月 坂本先生の想い出 古代文化四〇―三

四月 一条朝紳士淑女録―「枕草子」「紫式部日記」に現れる人々

国文学解釈と教材の研究三三―五(山中裕編。一条天皇・藤原

定子・藤原道隆・藤原道長を分担執筆)

節供の諸相と展開 悠久三三(白田甚五郎・桜井満・加藤健嗣

氏らと座談会)

五月 はしがき、栄花物語巻一再検討―村上天皇親政と九条家発展の

真相をみる 『栄花物語研究』二(山中裕編、高科書店)

はしがき 『御堂関白記全注釈』長和元年(山中裕編、高科書

店)

『平安時代の古記録と貴族文化』(思文閣出版)

(新稿)『西宮記』と『九条年中行事』

七月 木本好信著『平安朝日記と逸文の研究』 古代文化四〇―七

七月―平成元年七月

敦康親王と栄花物語(一)―(三)―古記録と物語・かな日記

の間(八)―(一〇) 日本古典文学会々報一一四―一一六

十一月 『藤原道長』(歴史新書四五)(教育社)

道長と『御堂関白記』 歴史研究三三一

十二月 下出積興著『古代日本の庶民と信仰』 明治大学広報二六五

十二月 平安びとのくらし 風俗二七―四(宗田一・根本順吉・林屋辰

三郎氏とのパネルディスカッション)

### ○平成元年

一月 「御堂関白記」 水荃五

三月 歴史と文学 国文学解釈と鑑賞五四―三

坂本先生を想う 坂本太郎著作集9付録

五月 源氏物語年中行事事典 別冊国文学三六源氏物語事典

六・九月 宮廷の年中行事(上)(下) 歴史と地理四〇六、四〇九

九月 『源氏物語』の元服と結婚 水荃七、一九九〇九

十月 発刊にあたって 六浦文化研究一

十月〜平成七年十月

我が研究生活―平安朝研究四十五年(一)〜(五) 弘前大学

国史研究八七、九六―九九

十一月 石川徹校注『大鏡』 国文学解釈と教材の研究三四―一三

十二月 平安朝貴族の宗教生活―とくに藤原道長を中心として 『古筆

学叢林』二(古筆と写経)(八木書店)

### ○平成二年

一月 有職故実 武蔵野文学三七

二月 古記録に学ぶ 別冊歴史読本一五―四(日本歴史「古記録総

覧」下)

五月 古記録研究に有益! 信西日本紀鈔とその研究(中村啓信著)

パンフレット(高科書店)

六月 はしがき 『御堂関白記全注釈』寛仁二年上(山中裕編、高科

書店)

七月 「栄花物語」をめぐる 高校通信東書国語三〇四

九月 彌永貞三著『日本古代の政治と史料』 古代文化四二―九

十月 藤原道長 別冊歴史読本一五―二四(日本歴史「伝記」総覧)

十一月 献辞 古代学研究所研究紀要一

和泉式部 日本歴史五一〇

### ○平成三年

一月 編者序 『論争日本古代史』(山中裕・森田悌編、河出書房新

社)

清少納言と中関白家 新日本古典文学大系月報二二

日記と日記文学 文学(季刊)二―一

二月 はしがき(再録) 『御堂関白記全注釈』寛仁二年下(山中裕

編、高科書店)

三月 発刊の辞 調布日本文化一

撰関政治史―村上天皇より一条天皇まで 調布日本文化一

四月 和泉式部と敦道親王 『論集日記文学』(木村正中編、笠間書

院)

五月 はしがき、『栄花物語』と中関白家 『栄花物語研究』三(山

中裕編、高科書店)

六月 古記録雑感 『撰関時代と古記録』(山中裕編、吉川弘文館)

歴史物語についての諸問題―『栄花物語』『大鏡』を中心として  
『王朝歴史物語の世界』(山中裕編、吉川弘文館)

藤原道長と倫子 日本古典文学会々報一二〇

八月 寢殿造のなかの文化―年中行事を中心として 『邸宅佳人―住

まいの文化誌』(ミサワホーム総合研究所出版制作室編、ミサワホーム総合研究所)

内覧官旨について―とくに藤原道長を中心として 地誌と歴史

四五

九月 源氏物語の年中行事 『源氏物語講座』五時代と習俗(勉誠社)

十一月 財団法人古代学協会編『後期撰関時代史の研究』 古代文化四

三一―

平安貴族の環境 国文学解釈と鑑賞別冊「平安貴族の環境」

(山中裕・鈴木一雄編、至文堂)

撰関政治と藤原道長 千葉史学一九

十二月 平安時代の年中行事、あとがき 国文学解釈と鑑賞別冊「平安

時代の儀礼と歳時」(山中裕・鈴木一雄編、至文堂)

### ○平成四年

一月 清少納言論―とくに年中行事の叙述を中心として 『平安時代

の作家と作品』(石川徹編、武蔵野書院)

藤原頼通とその時代 平等院大観付録Ⅲ

お雑煮の歴史 神社新報一月一日号

あとがき(鈴木一雄氏と共著) 国文学解釈と鑑賞別冊「平安

時代の信仰と生活」(山中裕・鈴木一雄編、至文堂)

二月 六条院の年中行事 婦人画報一〇六三

三月 平安文学と仏教行事 仏教文学一六

五月 後白河天皇時代の年中行事 『後白河法皇とその時代』(妙法

院門跡)、仏教文化講座たより四三に再録

七月 『御堂関白記』と『栄花物語』の史実について 日本古典文学

会々報一二二

八月 藤木邦彦著『平安王朝の政治と制度』 古代文化四四一八

十月 歴史物語と説話 歴史読本三七―二〇(日本「神話・伝説」総覧)

### ○平成五年

一月 古記録と日記 『古記録と日記』上(山中裕編、思文閣出版)

歴史物語の原史料 『古記録と日記』下(山中裕編、思文閣出

版)

王朝物語に見る正月行事 日本古書通信五八一―

三月 はじめに、藤原道長と紫式部―源氏物語が書かれた時代 『源

氏物語を読む』(山中裕編、吉川弘文館)

序 尾崎勇著『愚管抄とその前後』(和泉書院)

三月 後白河天皇時代の年中行事 『後白河院―動乱期の天皇』(古

代学協会編、吉川弘文館)

七月 平安時代人物研究に不可欠の書 平安人名辞典―長保二年(槇

野広造編)パンフレット(高科書店)

八月 寢殿造りでの遊び 『趣味人間―住まいの文化誌』(ミサワホ

ーム総合研究所出版制作室編、ミサワホーム総合研究所)

九月 延喜式と年中行事 『古代世界の諸相』(角田文衛先生傘寿記念会編、晃洋書房)

藤原道長 歴史読本三八一―一八(日本史を変えた人物二〇〇

人)

十二月 花開く国風文化② 女流文学の開花 『日本歴史館』(小学館)

○平成六年

一月 河添房江著 『源氏物語の喩と王権』 日本歴史五四八

三月 稻荷社と初午詣 朱三七

四月 日記と古記録、古代の日記 歴史読本三九一―八(特別増刊事典

シリーズ・日本「日記」総覧)

五月 「王朝の女性と文学」(研究会の記録第六三回) 総合女性史

研究一(文責梅村恵子)

六月 『平安京提要』(角川書店) 第二部平安京の構造の監修(臈谷

寿・杉山信三氏と共に)

九月 はしがき 『御堂関白記全注釈』寛弘元年(山名裕編、高科書

店)

○平成七年

二月 道長像の「まこと」 永井路子歴史小説全集月報五

三月 御堂関白道長と年中行事 水荃一八

中世・近世の金沢八景と金沢文庫 関東学院大学人文科学研究

所報一八

撰関政治史―藤原道長を中心として 調布日本文化五

八月 『新編日本古典文学全集』三栄花物語①(山中裕・秋山慶・池

田尚隆・福長進校注・訳、小学館)

十月 風俗史学の再検討―とくに文芸資料を力心として 風俗三三一

四

十一月 源氏物語の準拠と古記録・儀式書との関係(『王朝日記の新研

究』上村悦子編、笠間書院)

絵巻に描かれた年中行事、絵巻に描かれた遊戯(『絵巻物の鑑

賞基礎知識』若杉准治編、至文堂)』